

一

問一 ①連載 ②こうはん ③はんもと ④因縁 ⑤こうびん ⑥災難 ⑦宮内 ⑧ふつてい ⑨しせい ⑩発掘

問二 X お Y う Z あ

問三 P イ Q ウ R ア

問四 鷗外の生涯（「鷗外の年譜」も可）

問五 ゆたかな才能と適性をそなえた鷗外が、時代の要請をうけて外国文学の翻訳という仕事をなすとげることによって、文明が進歩するような西洋的で洗練された雰
 囲気を社会にもたらしたということ。

問六 歴史小説は、他人が作成した材料をもとに、著者が自身の思想に沿って人物造型や話の構成をつくりあげるものであるのに対し、鷗外の史伝は、自身の手で新た
 な材料を探し求め作成する過程において、人物造型が自然にできあがってくるものである。

二

問一 ①はつきりせず ②比べるものがないほどすばらしい

③ちよつとした言葉の美しさも見えるようです ④こちらが恥ずかしくなるほどすばらしい詠みぶりです

問二 A めれ B 侍る C 思へ D ゆゆしけれ E べかり

問三 和泉式部は、ふるまい方、態度、心配りなど、人柄の点において、赤染衛門より劣っていると世間では思われていたため。

問四 「こやとも人を」の歌は、技巧がすばらしい一方で歌自体の品格は優れたものではないが、「はるかに照らせ」の歌は、着想はありふれているものの、少し聞い
 ただけでありありと景色が浮かぶような格調高いものであるため。

三

問一 ①すでに ②すなわち ③ことごとく ④ああ

問二 梅は真つ直ぐよりも曲がついている方が美しく、枝が密であるよりもまばらである方が美しいとする考え方。

問三 文人画家の梅に対する独特の嗜好を、梅を売る者に告げた人がいたために、梅を売る者は真つ直ぐな枝や若い枝を切り落とし、生気のない梅にして高価で売った

ので、江蘇省や浙江省の梅が病んでしまったこと。

問四

(一) いっとしてまったきものなし

(二) 一つとして完全な姿を留めているものはない

問五

どうにかして私は、多くの暇な時間と空いた土地とをもち、南京や杭州、蘇州の病める梅を大量にたくわえ、生涯をかけて梅を治療したいものだ